

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の体調や生活リズムに留意し、健康に過ごせるようにする。 身の回りの様々なことに興味をもち、自分でしようとする。 保育士や友だちと一緒に簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを楽しむ。 保育士や友だちと一緒に遊びながら、言葉のやりとりを楽しむ。 	子どもの姿 先月の	<ul style="list-style-type: none"> 保育士が見守りながら、順番に並んで手洗いを丁寧にこなすようになった。 三匹の子ぶたごっこやしっぽとり、おすもう遊びを楽しむ姿があった。 冬の自然に触れて遊ぶ姿もあった。 保育士や友達に簡単な文章で話したり、生活や遊びでの言葉のやり取りを楽しむ。 	行事	1日 節分 13日 保護者会 19日 身体測定 22日 避難訓練
	内容	環境構成		保育者の援助及び配慮	
養護 ○生命 ・情緒	<ul style="list-style-type: none"> 室内の換気、湿度、温度に留意し、快適に過ごせるようにする。 感染症にかかりやすい時期なので、異常に気づいたときは適切に対応する。 子どもの気持ちを大切にしながら一人一人とゆったり関わり、安心して過ごせるようにする。 できたことを誉め、自分でやってみようとする気持ちを大切に、意欲につなげられるようにする。 異年齢児と遊ぶ機会を持ちながら保育士が仲立ちし、楽しく遊べるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内の換気や室温、温度チェックを行い（午睡前後、おやつ後入室時等）加湿器や暖房を適切に使用する。 こまめにおもちゃ、棚の消毒をする。 気持ちや思いを表に出しやすい雰囲気づくりに努め、子どもの気持ちによりそい、共感しながら情緒の安定した生活が送れるようにする。 子どもが意欲的にする行動や「待つこと」を大切に。 小グループの場所で、一人一人の心の安定を図り、少しずつ場所や雰囲気慣れていくようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康状態の把握に努め、変化があれば職員間で情報を共有し、子どもの変化に気付いていけるようにする。 自分でできることを増やし、出来た時には褒めたり、一緒に喜び自信に繋げていく。 一人一人の気持ちを受容し、寄り添い、満足感・安心感を持てるようにする。 一人一人の気持ちを汲み取り、個々にあった関わりを多く取り入れていくようにする。 年上の子どもとの遊びを見たり関わったりして、一緒に遊ぶことを楽しむ。 	
教育 ○健康 ・人間関係 ・環境 ・言葉 ・表現	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 手洗いを丁寧にしようとする。 楽しく食事をする中で、正しい姿勢で（体の向き、足の場所）食具を持ち、器に手を添えながら、エプロンを使わずこぼさずに食べようとする。 尿意や便意を感じたら、自分からトイレに行き排泄する。 上着、衣服の着脱を自分でやってみようとしたり、ただんてみようとする。 鼻水が出たら自分で拭いたり、鼻をかんでみようとする。 <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちの遊びに関心を示し、自ら遊びに入って友だち同士で遊びを広げる楽しさを知る。 簡単なルールのある遊びをやってみようとする。（しっぽとり・おすもう） 「一緒に遊ぼう」「○○しよう」などのやりとりをしながら、友だちと同じ遊びや場所を共有して遊ぶことを楽しむ。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬の自然を見たり触れたりして、保育者と一緒に様々な発見を楽しむ。 冬の寒さを感じながら、戸外で体を動かし遊ぶことを楽しむ。 <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士や友だちと一緒に遊びながら、言葉のやり取り、模倣などを楽しむ。 楽しかった体験や知っていることを友だちや保育士に伝えたり、友だちの話を聞くことしたりする。 <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> のりで貼ったり、はさみを使ったりして、作ることを楽しむ。（ひな人形） 季節の歌を歌ったり手遊びをしたり、音楽に合わせて体を動かしたり踊ったりする。（ゆき・うれしいひなまつり） 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの大切さを分かりやすく伝える。 手洗い用の石けんや、ペーパータオルを準備しておく。 トイレをいつでも使えるよう環境を整えておく。 衣服を着脱しやすよう十分なスペースを確保する。 ティッシュペーパーは、いつでも取り出しやすい場所に置く。 玩具や遊びの道具を用意する。（スカート・おんぶひも・ハンカチ等） しっぽとりで使う新聞紙を用意する。 ルールの遊びの時は、石、枝など危険箇所などを確認する。 子どもの動きを把握し、見守り、近くにいられるようにする。 子どもの動線大切に、自分たちで取り組みやすい室内の環境を整える。 話を聞けるような環境作りをする。 制作する前には、絵本や紙芝居を使って行事を知ったり、興味を持つようにする。 はさみを使う時は、必ず保育士がいるようにする。 CDデッキ、ピアノ、楽器を準備する。 		<ul style="list-style-type: none"> 水分補給を十分に行い、風邪、体調管理に気を付ける。 子どもの様子を見ながら、手洗いの仕方をその都度丁寧に知らせる。 スプーンの持ち方をさりげなく知らせたり、体の向きを知らせたりして、楽しく食べる雰囲気を作るようにする。 保育士が模範になって、食器を持ったり、添えたりする姿を見せる。 一人一人の出来た喜びを受け止め、自信につながるような声かけをしていく。 排泄の間隔が短い子には早めに声をかけるようにし、自分でトイレに向かう際は近くで見守れるようにする。 手を添えて一緒に鼻を押さえたり鼻をかんだりしながら清潔にする気持ち良さを共有していく。 保育士も一緒に遊びながら、体を動かす楽しさが感じられるようにする。また、遊んだあと汗をかいていないか確認し、必要なら着替えに誘う。 氷の冷たさ、霜柱の感触に保育士が気づき子どもと冬の自然の不思議さを共有していく。 ゆったりとした雰囲気や心がけ、言葉のやり取りやおしゃべりを楽しめるようにする。 はさみ、使う時には必ず保育士が近くにいるようにし、少人数で行うようにする。 出来上がった作品の完成を一緒に喜んで認め合ったりする。 歌ったり踊ったりして、のびのびと表現する楽しさを感じられるようにする。 	
	家庭・地域との連携	職員間の連携		月の反省と自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの事を自分でしようとする姿は、家庭でも同様に見守ったり一緒に喜んであげることが、自信につながる大切なことを知らせる。 感染症については、便りを配布して予防や注意を呼びかけたり、感染症を掲示板を使用して、園内の状況を知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの生活の流れや取り組み方を再度共通理解し、3歳児クラスへの移行を視野に入れていく。 感染症についての知識を深め、園内での状況を把握しながら予防に努める。 			

- 適度な薄着を心掛けてもらい、肌着を着用することの大切さを伝える。
- 家庭でのこまかな体調の変化も必ず伝えてもらう。

- 一人一人の成長を見守り、気づきたいことなどを情報交換し、全体で見守る。